

令和4年7月9日

各県・地区躰道協会 各位

第31回全国社会人躰道優勝大会

実行委員長 小林大輔

全国社会人躰道優勝大会 開催に関して

謹啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は日本躰道協会の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、昨年は全国社会人躰道優勝大会が第30回という節目の大会でありました。しかしながら会場の人数制限、行動の制約もありコロナ禍前の規模での開催は行えませんでしたが無事開催することができました。お力添えいただきました皆様方へ改めて感謝申し上げます。

節目である30回を経て、今年度は新たな気持ちで取り組んでいきたいと考えております。社会人大会は開催当初の参加者から比較して、その出場者は増加している大会です。その参加者は「学生から社会人になり継続している方」「道場で子供のころから続けている方」「社会人になり新たに躰道を始められた方」など各々の躰道歴は多岐に渡っており、年齢の幅に関しても他の大会よりも広い層で行われております。

また、参加者が様々いるということからその年により色々な競技を行ってきた大会でもございます。

つきましては上記の通り、その参加者の方々の特性を活かした大会として開催したいという意向もあり、また各県・地区の団体で日々研鑽された実技の発表の場としての全国社会人躰道優勝大会としたい意向がございますので改めてご連絡させていただきます。

この度【第31回全国社会人躰道優勝大会】要項をお知らせいたしますが、その内容はここ数年のものとは異なっている部分がございます。大きな変更としては下記の通りです。ご理解ご了承いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【変更点】

● 壮年実戦競技に関して

特別競技ではなく、「個人実戦競技 壮年の部」として正式な競技として実施。

* 変更理由：幅広い年齢層に対応するため壮年（40歳以上）の部を設定。

一定以上の年齢の選手の中で、研鑽された実技を競い合う場として設定。

● 団体競技におけるチーム編成方法は下記の通りと致します。

・各地区でのチーム編成を行うこと。

* 従来の方法による複数の地区での混成は不可とさせていただきます。

* 変更理由：社会人大会もその他の全国大会同様の格付けであるため、地区での団体編成を行うこととし、将来的には地区対抗の大会としたい。

以上

今後の全国社会人躰道優勝大会は、「全国少年少女・高校生躰道優勝大会」「全国学生躰道優勝大会」と同様の全国躰道優勝大会として開催していくことを目指し、その時代・状況に応じて創造進化させていく所存でございます。

上記の趣旨をご理解いただき、引き続き全国社会人躰道優勝大会にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。